

近畿地方整備局 滋賀国道事務所
資料配布

配布日時	平成22年3月1日 14時00分
------	---------------------

件名	滋賀県内の自転車通行環境整備モデル地区（2箇所） アンケート結果の公表
----	--

概要	<p>近年、自転車事故は増加傾向にあり、特に歩行者と自転車の交通事故は、この10年間で約4.5倍に増加しています。</p> <p>国土交通省と警察庁では、平成20年1月に全国で98箇所の自転車通行環境整備のモデル地区を指定し、滋賀県内では、<small>おおつ</small>大津市の<small>せた</small>瀬田地区と<small>くさつ</small>草津市の<small>みなみくさつ</small>南草津地区の2地区がモデル地区に指定されました。</p> <p>国土交通省、滋賀県、草津市の各道路管理者と警察が連携し、平成21年度から<small>おおつ</small>大津市<small>せた</small>瀬田地区並びに<small>くさつ</small>草津市<small>みなみくさつ</small>南草津地区において、自転車と歩行者が分離された自転車歩行者道の整備に着手し、昨年、<small>せた</small>瀬田地区の一部区間について整備が完了するとともに、<small>みなみくさつ</small>南草津地区については全ての整備が完了しました。</p> <p>先般、これらの自転車歩行者道の整備について地域の方々にアンケートを行い、<small>みなみくさつ</small>南草津地区で298名、<small>せた</small>瀬田地区で317名の回答を得ました。今後はアンケートの意見を参考に、今後の自転車通行環境の整備を進めていきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。</p> <p>【アンケートの結果から読み取れる内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 草津市南草津地区、大津市瀬田地区ともに、約7割～9割の方が、自転車・歩行者の通行位置を意識するようになっていきます。</li> <li>◆ また、2地区ともに、約半数以上の方が、安全性・快適性が向上したと評価しています。</li> <li>◆ 2地区ともに、自転車通行環境の整備に一定の理解を示していますが、その一方で、『自転車のルール・マナーが守られていない』などの意見が寄せられています</li> </ul>
----	---

取り扱い	—
------	---

配布場所	滋賀県政記者クラブ
------	-----------

問合わせ先	<p>国土交通省 近畿地方整備局 滋賀国道事務所 副所長 板垣 勝則 交通対策課長 伊藤 正一 TEL:077-523-1741（代表） 内線 205、471</p>
-------	---

# 草津市南草津地区の自転車通行環境整備のアンケート結果について

国土交通省滋賀国道事務所、滋賀県、草津市では、草津市南草津地区において、『安全で快適な自転車走行空間の確保』を目的として、自転車通行環境の整備を行いました。

草津市南草津地区の中心に位置する JR 南草津駅利用者を対象としてアンケート調査を実施した結果、約5～7割の方が自転車通行環境の整備により自転車・歩行者の安全性・快適性が向上したと整備に一定の理解を示しています。

## 1. 草津市南草津地区の整備について

このたび、滋賀国道事務所、滋賀県、草津市では、自転車と歩行者の通行位置が明示されることにより、歩行者と自転車の分離された通行空間の整備を行いました。



草津市南草津地区

**県道大津草津線モデル地区**

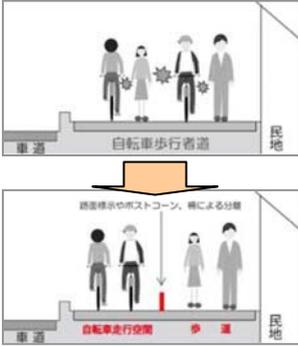
整備前



整備後



横断防止柵及び路面塗装により通行位置を明示



草津市道モデル地区

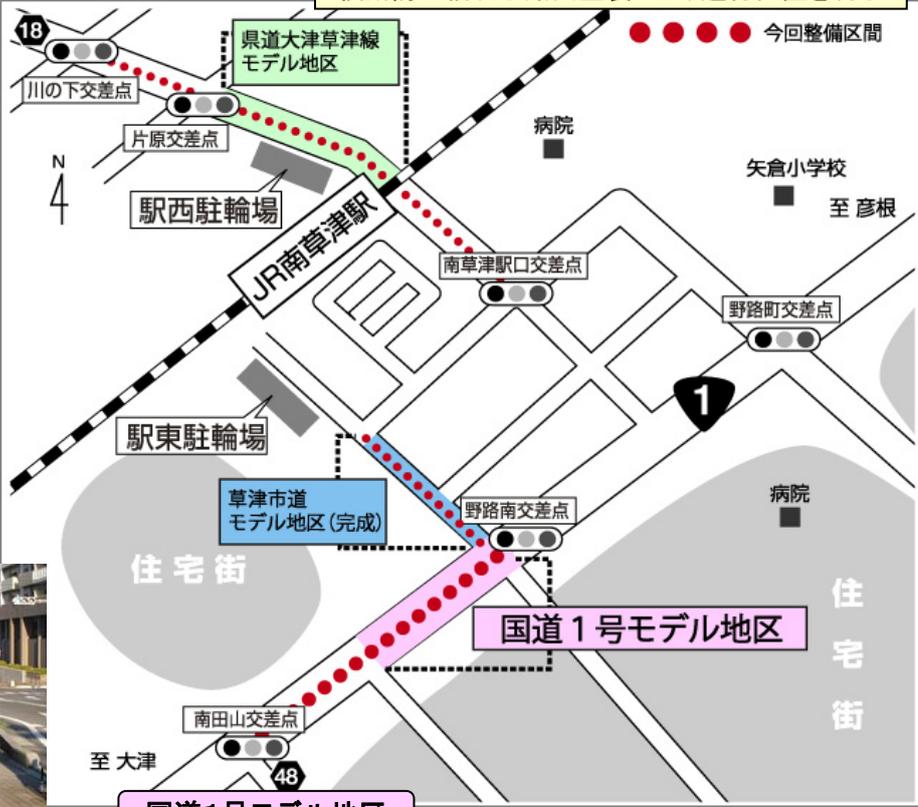
整備前



整備後



区画線により通行位置を明示



国道1号モデル地区

整備前



整備後



区画線及びポストコーンにより通行位置を明示

## 2. アンケート実施方法

○調査対象:JR 南草津駅周辺の駐輪場利用者及び歩行者:1,166 部配布

○回収部数:298 部(回収率:25.6%) ○調査期間:平成 22 年 11 月 25 日(木)7~18 時

## 3. 草津市南草津地区のアンケート結果について

### ■ポイント

#### 【自転車利用者の意見】

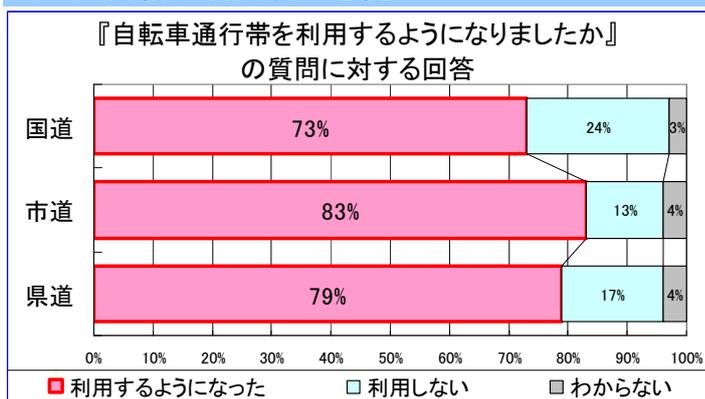
- 約7~8割の方が、自転車の通行位置を意識するようになっている
- 約5~6割の方が、歩行者とのすれ違いが安全になったと評価している
- 約5~7割の方が、自転車による移動の快適になったと評価している

#### 【歩行者の意見】

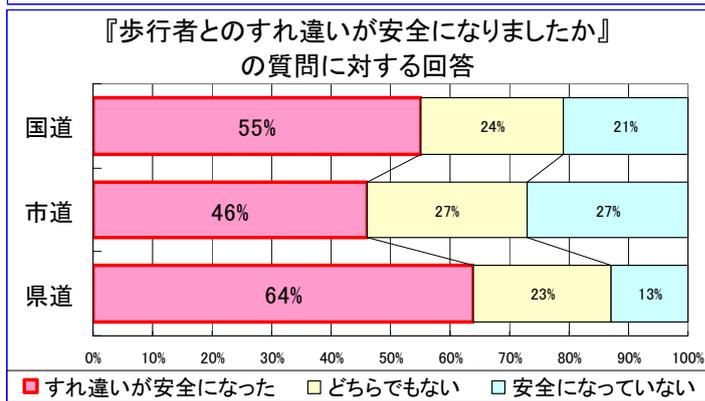
- 約8割の方が、歩行者の通行位置を意識するようになっている
- 約5~6割の方が、自転車とのすれ違いが安全になったと評価している
- 約5~7割の方が、徒歩による移動の快適になったと評価している

上記より、整備効果を実感し、自転車通行空間の整備に一定の理解を示していますが、一方で、『交通ルール・マナー全般が守られていない』などの意見が寄せられている。

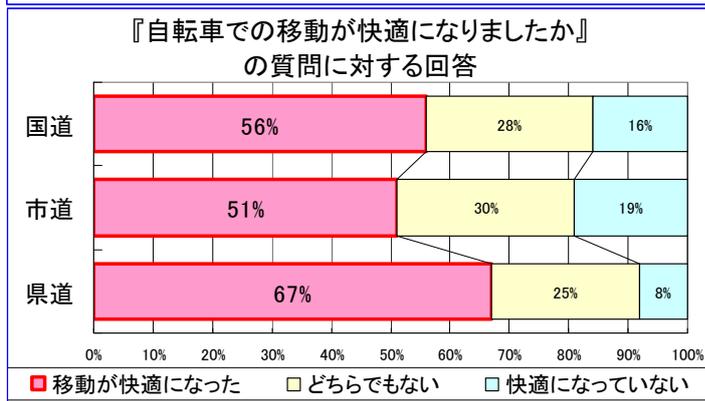
### (1) 自転車利用者の意見



自転車利用者の約7~8割の方が、『自転車通行帯を利用するようになった』と回答し、約1~2割の方が『自転車通行帯を利用しない』と回答しており、自転車通行位置を意識するようになっている。

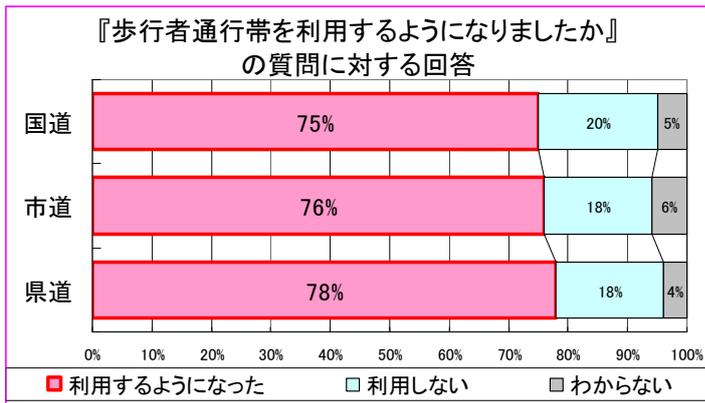


自転車利用者の約5~6割の方が、『歩行者とのすれ違いが安全になった』と回答し、約1~3割の方が『歩行者とのすれ違いが安全になっていない』と回答しており、安全になったとの意見が多い。

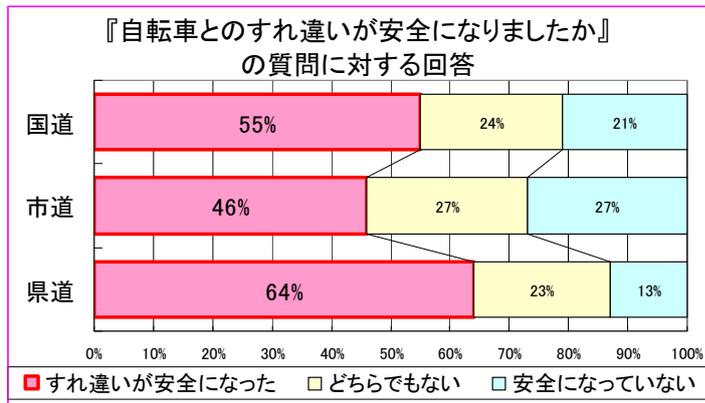


自転車利用者の約5~7割の方が、『自転車での移動が快適になった』と回答し、約1~2割の方が『自転車での移動が快適になっていない』と回答しており、快適になったとの意見が多い。

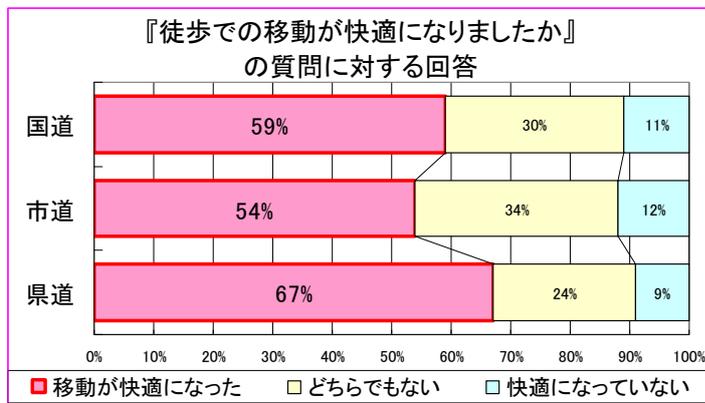
## (2) 歩行者の意見



歩行者の約8割の方が、『歩行者通行帯を利用するようになった』と回答し、約2割の方が『歩行者通行帯を利用しない』と回答しており、歩行者の通行位置を意識するようになっている。

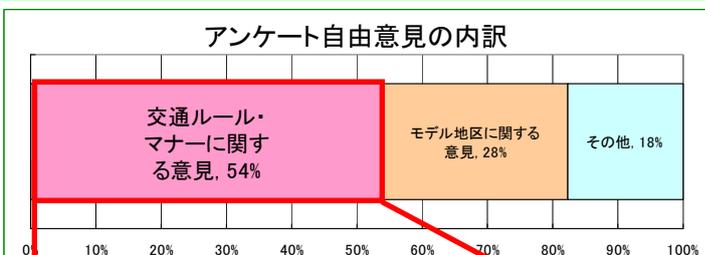


歩行者の約5～6割の方が、『自転車とのすれ違いが安全になった』と回答し、約1～3割の方が『自転車とのすれ違いが安全になっていない』と回答しており、安全になったとの意見が多い。

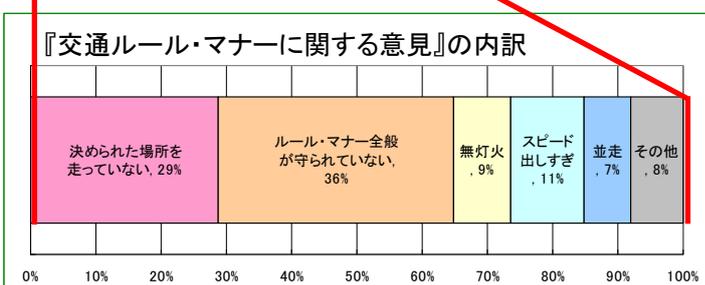


歩行者の約5～7割の方が、『徒歩での移動が快適になった』と回答し、約1割の方が『自転車での移動が快適になっていない』と回答しており、快適になったとの意見が多い。

## (3) 自由意見



自由意見にご記入いただいた方のうち、約半数が交通ルール・マナーに関する指摘をしています。



交通ルール・マナーのうち、『自転車・歩行者が決められた通行帯を走行していない』、『交通ルール・マナー全般が守られていない』などの意見が多い。

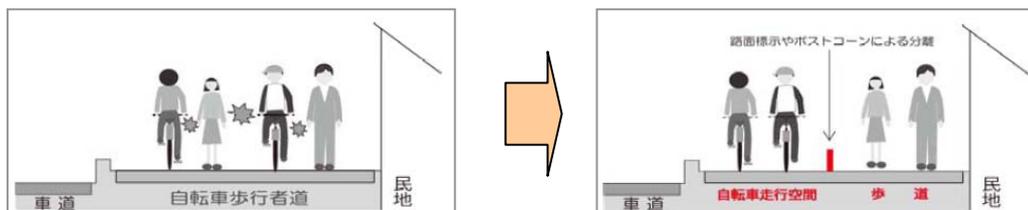
# おおつ せた 大津市瀬田地区の自転車通行環境整備のアンケート結果について

国土交通省滋賀国道事務所、では、おおつ せた 大津市瀬田地区において、『安全で快適な自転車走行空間の確保』を目的として、国道1号の一部区間（瀬田駅口～大萱1丁目西交差点間）において、自転車と歩行者が『分離』された通行空間を整備の整備を行いました。

おおつ せた 大津市瀬田地区の中心に位置するJR瀬田駅利用者を対象としてアンケート調査を実施した結果、約6割の方が自転車通行環境の整備により自転車・歩行者の安全性・快適性が向上したと整備に一定の理解を示しています。

## 1. 大津市瀬田地区の整備について

このたび、滋賀国道事務所では、自転車と歩行者の通行位置が明示されることにより、歩行者と自転車の分離された通行空間の整備を行いました。



## 2. アンケート実施方法

○調査対象:JR 瀬田駅周辺の駐輪場利用者及び歩行者:1,080 部配布

○回収部数:317 部(回収率:29.4%) ○調査期間:平成 22 年 11 月 25 日(木)7~18 時

## 3. 大津市瀬田地区のアンケート結果について

### ■ポイント

#### 【自転車利用者の意見】

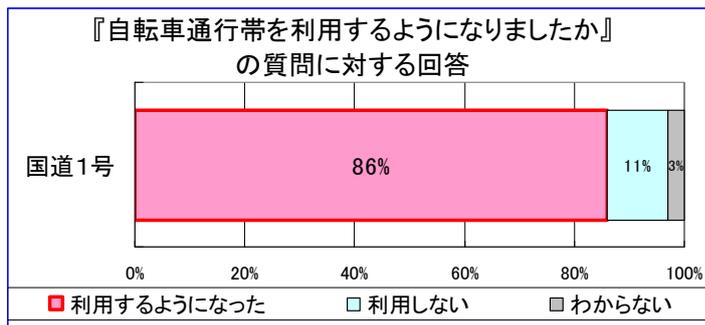
- 約 9 割の方が、自転車の通行位置を意識するようになっている
- 約 6 割の方が、歩行者とのすれ違いが安全になったと評価している
- 約 6 割の方が、自転車による移動の快適になったと評価している

#### 【歩行者の意見】

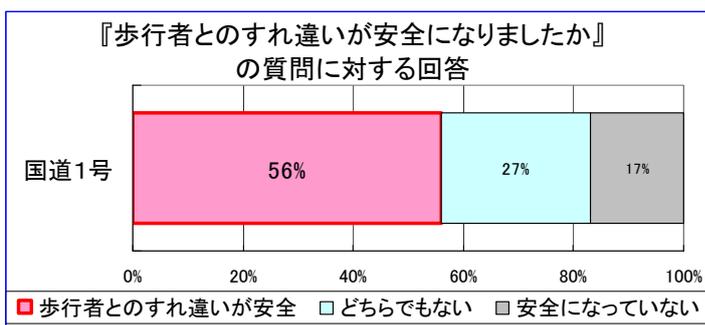
- 約 8 割の方が、歩行者の通行位置を意識するようになっている
- 約 6 割の方が、自転車とのすれ違いが安全になったと評価している
- 約 6 割の方が、徒歩による移動の快適になったと評価している

上記より、整備効果を実感し、自転車通行空間の整備に一定の理解を示していますが、一方で、『交通ルール・マナー全般が守られていない』などの意見が寄せられている。

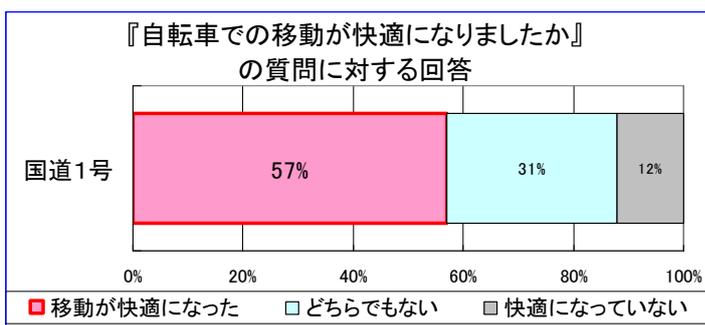
### (1) 自転車利用者の意見



自転車利用者の約9割の方が、『自転車通行帯を利用するようになった』と回答し、約1割の方が『自転車通行帯を利用しない』と回答しており、自転車通行位置を意識するようになっている。

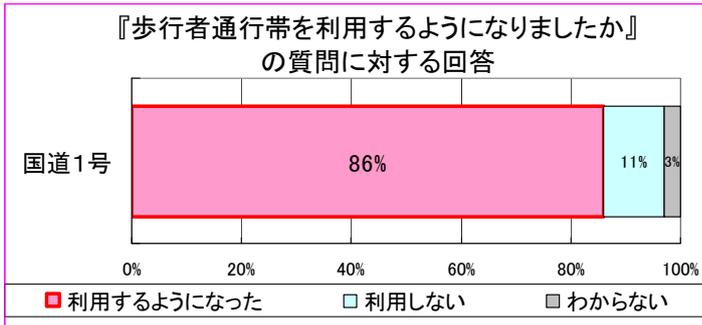


自転車利用者の約6割の方が、『歩行者とのすれ違いが安全になった』と回答し、約2割の方が『歩行者とのすれ違いが安全になっていない』と回答しており、安全になったとの意見が多い。

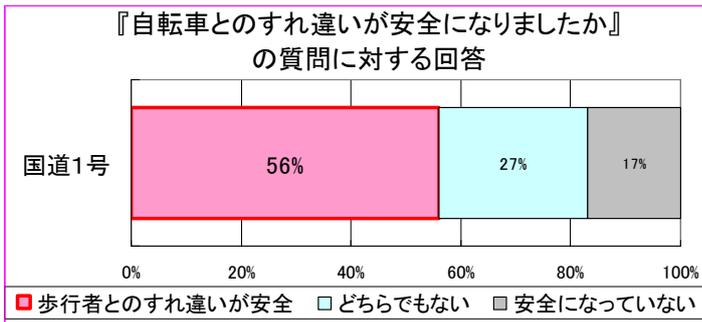


自転車利用者の約6割の方が、『自転車での移動が快適になった』と回答し、約1割の方が『自転車での移動が快適になっていない』などの意見が多い

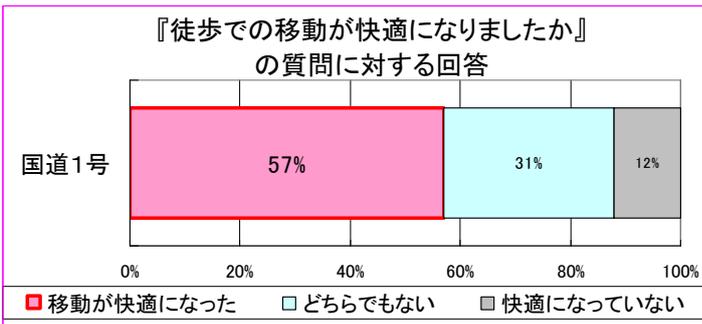
## (2) 歩行者の意見



歩行者の約8割の方が、『歩行者通行帯を利用するようになった』と回答し、約2割の方が『歩行者通行帯を利用しない』と回答しており、歩行者の通行位置を意識するようになっている。

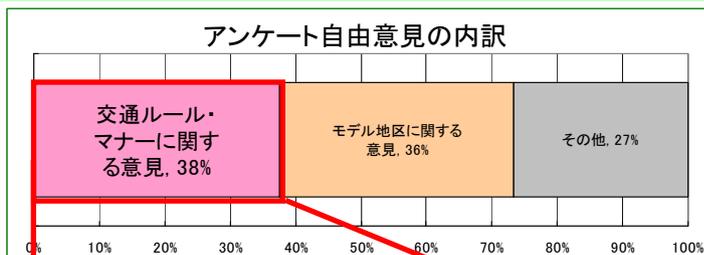


歩行者の約6割の方が、『自転車とのすれ違いが安全になった』と回答し、約1～3割の方が『自転車とのすれ違いが安全になっていない』と回答しており、安全になったとの意見が多い。

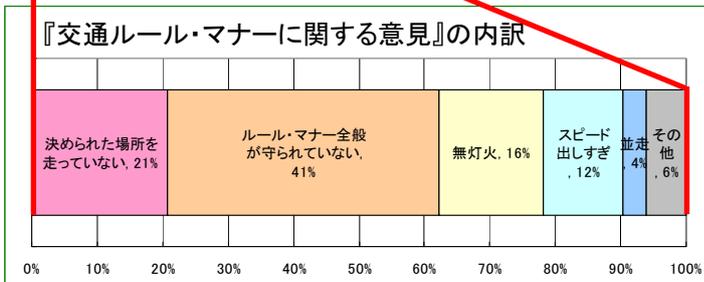


歩行者の約6割の方が、『徒歩での移動が快適になった』と回答し、約1割の方が『自転車での移動が快適になっていない』と回答しており、快適になったとの意見が多い。

## (3) 自由意見



自由意見にご記入いただいた方のうち、約4割の方が交通ルール・マナーに関する指摘をしています。



交通ルール・マナーのうち、『自転車・歩行者が決められた通行帯を走行していない』、『交通ルール・マナー全般が守られていない』などの意見が多い。